

★印は、今大会のテーマ「日本語教師に求められる資質・能力をめぐる課題」に関連した発表です。
下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

パネルセッション—質疑応答—

第1部 [13:00 ~ 13:30 (30分)]

第1会場

①★…p.20

新しい時代の日本語教育人材育成のための連携・意義・教育観—「日本語教師教育者ネットワーク」の活動から—

嶋津百代 (関西大学)
北出慶子 (立命館大学)
杉本香 (大阪大谷大学)
中谷潤子 (大阪産業大学)

第2部 [13:40 ~ 14:10 (30分)]

第1会場

②…p.29

なぜ「ボランティア」なのか—地域日本語教育の基盤について考える—

富谷玲子 (神奈川大学)
松岡洋子 (岩手大学)
杉本篤史 (東京国際大学)

第3部 [14:20 ~ 14:50 (30分)]

第1会場

③…p.39

ナラティブによる実践の可視化は何を生み出すのか—評価と社会関係構築の結節点—

南浦凉介 (東京学芸大学)
三代純平 (武蔵野美術大学)
中川祐治 (福島大学)
石井英真 (京都大学)

口頭発表—質疑応答—

午前の部 [9:30 ~ 12:20 (各 20 分)]

第 1 会場

司会：	
	【①～③】伊藤秀明（筑波大学） 【④～⑥】服部明子（三重大学）
9:30 ~ 9:50	①…p.50 学部留学生の日本語における「分かったフリ」とそれをめぐる言語不安—インタビュー調査からの一考察— 祖父江カースティ（日本福祉大学）
10:00 ~ 10:20	②…p.56 中国人日本語学習者における講義の理解に及ぼす聴解目的の影響 伊藤賀与子（広島大学大学院生）
10:30 ~ 10:50	③…p.62 学習者自身がふりかえる大学学士課程でのライティングを通じた学び—留学生・日本語母語話者大学生へのインタビューをもとに— 大島弥生（立命館大学）
11:00 ~ 11:20	④…p.68 高度外国人材に求められるオンライン業務スキルに関する実態調査—CEFR 2018 に基づき開発した Can-do statements を用いて— 葦原恭子（琉球大学）、塩谷由美子（東京富士大学） 島田めぐみ（日本大学）、奥山貴之（沖縄国際大学） 野口裕之（名古屋大学名誉教授）
11:30 ~ 11:50	⑤…p.74 介護の日本語 Can-do ステートメント（KCDS）に基づいた教材開発 加藤真実子（東京都立大学）、奥村恵子（同） 西郡仁朗（同）
12:00 ~ 12:20	⑥…p.80 ベテランボランティアは日本語支援ボランティア養成講座への大学生の参加をどう意味づけたか 内山喜代成（名古屋学院大学） 村田竜樹（名古屋大学大学院生） 松本美紀（星城大学）、梶原彩子（名古屋学院大学）

★印は、今大会のテーマ「日本語教師に求められる資質・能力をめぐる課題」に関連した発表です。
 下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

第2会場

第3会場

	司会： 【⑦～⑨】 水野晴美（国際日本語普及協会） 【⑩～⑫】 三宅和子（東洋大学）	司会： 【⑬～⑮】 西口光一（大阪大学） 【⑯～⑰】 浜田麻里（京都教育大学）
9:30 ~ 9:50	⑦…p.86 IJAS の依頼のロールプレイにおける中級・上級日本語学習者の配慮の表し方—発話の機能に着目して— 須賀和香子（国立国語研究所） 細井陽子（山野日本語学校）	⑬★…p.122 日本語教師の資質・能力としての態度について考える—構成主義的学習観に基づく教師養成科目での大学生の理解の過程に着目して— 近藤有美（名古屋外国語大学）、近藤行人（同） 宮本真有（同）、櫻井省吾（同）
10:00 ~ 10:20	⑧…p.92 接触経験が多い母語話者は会話を通して非母語話者の日本語レベルの違いをどのように判断しているか 張瀟尹（一橋大学大学院生）	⑭★…p.128 日本語教員の「態度」を身につけるケース学習とは—受講生のアンケートによる検討— 鴈野恵（筑紫女学園大学）
10:30 ~ 10:50	⑨…p.98 ベトナム人日本語学習者の長音知覚における困難点—長音のアクセント型と語中の位置に着目して— 田中真由美（日本福祉大学）	⑮★…p.134 大学生が見据えるライフコース・キャリアにおける日本語教師という職業—日本語教育課程の学生が新卒で日本語教師に進まないことを決めるまでのプロセス— 北出慶子（立命館大学）
11:00 ~ 11:20	⑩…p.104 カタカナ語とその類義語の文脈による使い分け—質問紙調査の結果から— 山下直子（香川大学） 畑ゆかり（穴吹ビジネスカレッジ） 轟木靖子（香川大学）	⑯★…p.138 リモート時代の地域日本語教室に関する調査研究 中井延美（明海大学）
11:30 ~ 11:50	⑪…p.110 人称表現における複数性と不定性—「人々」の誤用をめぐる— 牧彩花（東京国際大学）	⑰★…p.140 多文化共生をめざす「生活者としての外国人と日本人」の協働の場における日本語教師の在り方—日本語学習支援者研修から考える— 西山陽子（国際活動市民中心） 萬浪絵理（同）
12:00 ~ 12:20	⑫…p.116 日本語学習者による条件表現ナラの使用傾向—「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」を資料として— 奈良夕里枝（フェリス女学院大学）	⑰★…p.146 外国につながる子どもの学習支援サービスラーニングとICT活用 川田麻記（桜美林大学） 横溝亮（横浜市立並木第一小学校）

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

口頭発表—質疑応答—

午後の部 [13:40 ~ 15:00 (各 20 分)]

第 1 会場

司会：
【⑱～㉑】西谷まり（一橋大学）

13:40 ~ 14:00	<p>⑱…p.153 「対のある自他動詞」の練習・学習を支援するシステムの開発—5週間のオンライン学習における効果—</p> <p>沖本与子（一橋大学大学院生）</p>
14:10 ~ 14:30	<p>⑳…p.159 意見述ベタスクの認知的複雑さは言語産出にどう影響するか—中国人日本語学習者と日本語母語話者の比較から—</p> <p>金銀姫（神田外語大学大学院生）</p>
14:40 ~ 15:00	<p>㉑…p.165 認知負荷が日本語学習者の発話に与える影響—口頭流暢性の客観指標に注目して—</p> <p>陸嘉良（東京工業大学大学院生） 佐藤礼子（東京工業大学）</p>

★印は、今大会のテーマ「日本語教師に求められる資質・能力をめぐる課題」に関連した発表です。
 下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

第2会場

司会：
 【22～24】松岡洋子（岩手大学）

13:40 ~ 14:00	②②…p.171 日本語学習者の類似表現の表現選択と表現意図に関する一考察—作文とインタビューの分析を通じて— 董芸（国立国語研究所）
14:10 ~ 14:30	②③…p.177 在住外国人のための求職場面の日本語の研究—小規模コーパスとテキストマイニングによるアプローチ— 亀井信一（早稲田大学大学院生）
14:40 ~ 15:00	②④…p.183 日本語教室における学習者の「つぶやき」の機能と特徴—初級レベルの事例— 加藤伸彦（東海大学大学院生）

第3会場

司会：
 【25】嶋田和子（アクラス日本語教育研究所）

13:40 ~ 14:00	②⑤★…p.189 日本語学校・大学・地域において日本語教育コーディネーターが発揮している能力とは 御館久里恵（鳥取大学）
---------------	---

★印は、今大会のテーマ「日本語教師に求められる資質・能力をめぐる課題」に関連した発表です。
 下に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

ポスター発表—質疑応答—

第1会場

午前の部 [9:20 ~ 12:30 (各 40分)]

9:20 ~ 10:00

①★…p.196

内容言語統合型学習 (CLIL) によるオンライン海外実習の試み

奥野由紀子 (東京都立大学),
 神村初美 (ハノイ工業大学)
 趙鑫 (東京都立大学大学院生), 姫宇禾 (同)
 陳永梅 (同), エネザンバラ (同)

10:10 ~ 10:50

②★…p.202

オンライン双方向授業が自律学習を高める可能性についての考察—中級学習者へのアンケートの結果から—

倉八順子 (東京富士語学院)

11:00 ~ 11:40

③★…p.208

「オンラインによる日本語支援」のための大学生サポーター養成カリキュラムの開発—日本語指導が必要な児童生徒に対する持続可能な学習支援を目指して—

入山美保 (筑波大学)
 井上里鶴 (つくばにほんごサポート)

11:50 ~ 12:30

④★…p.214

プロジェクト・ワーク型日本語教育実習で養成できる資質・能力とは

杉本香 (大阪大谷大学)
 松岡里奈 (大阪大学)

午後の部 [13:40 ~ 15:10 (各 40分)]

13:40 ~ 14:20

⑬★…p.260

中国語を母語とする日本語学習者が日本語教師になるまでのキャリア形成に影響を及ぼす要因—ライフストーリーからわかる日本語教育実習の重要性—

井元麻美 (京都外国語大学大学院生)

14:30 ~ 15:10

⑭★…p.266

多文化共生をめざす「生活者としての外国人」のための基礎日本語クラスのあり方—教材「わたしを伝える日本語」から考える—

萬浪絵理 (千葉市国際交流協会)

第2会場

- 9:20 ~ 10:00 ⑤…p.220
日本語音声研究の動向—学会誌『日本語教育』および学会発表の分析から—
木下直子（早稲田大学）
高橋恵利子（防衛大学校）
大久保雅子（東京大学）
- 10:10 ~ 10:50 ⑥…p.223
論理的文章の自動評価に関する研究—アカデミック・ライティングへの貢献を目指して—
李在鎬（早稲田大学）、伊集院郁子（東京外国語大学）
青木優子（東京福祉大学）、長谷部陽一郎（同志社大学）
村田裕美子（ミュンヘン大学）
- 11:00 ~ 11:40 ⑦…p.227
熟語の構成に基づく日中同形同義語リストの構築
宣方園（京都大学大学院生）
- 11:50 ~ 12:30 ⑧…p.233
日本語の感情表現における意味と形式—サ変感情動詞に注目して—
清水麻美（早稲田大学大学院生）
李在鎬（早稲田大学）
- 13:40 ~ 14:20 ⑮…p.272
日本語学習者の「(よ) うと思う」の使用文脈—I-JAS の分析を通して—
三好優花（一橋大学大学院生）
- 14:30 ~ 15:10 ⑯…p.278
習熟度別に見た学習者の「ちょっと」の使用の分析
藤田裕一郎（朝日大学）
立部文崇（徳山大学）

第3会場

- ⑨…p.239
日本語指導が必要な児童生徒のための遠隔支援における地域連携モデル—茨城県グローバル・サポート事業の試み—
澤田浩子（筑波大学）
井上里鶴（つくばにほんごサポート）
松崎寛（筑波大学）、入山美保（同）
- ⑩…p.245
幼児の物語文の分析—結束性と局所構造—
稲葉みどり（愛知教育大学）
- ⑪…p.247
日本語非母語話者の学校配布プリントの理解向上にイラストがどのような効果を生み出すのか
檜原ゆかり（早稲田大学大学院生）
- ⑫…p.253
仲介行動に伴う責任を味わうための試み—インタビュー雑誌作成プロジェクトで学習者が感じたこと—
濱田典子（秋田大学）
- ⑰…p.284
日本語初級学習者はどのように宿題を行っているか—「ありのまま」を撮影したビデオの観察—
古田梨乃（国際教養大学）、三和秀平（信州大学）
樋渡康敬（国際教養大学）、橋本洋輔（同）